



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 17 日

1. 出張国名 ブルキナファソ、ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 09 月～11 月
3. 出張目的 1) 改良かまどに係る CDM 方法論の現地検証調査及び
 JIRCAS セミナー参加：A
 2) ため池試験施工準備：B

4. 成果の概要

小規模 CDM 方法論の算定式に基づき、改良かまど (FA:Foyer Amélioré) 導入に伴う FA1 基当たり薪消費量を測定し、三石かまどの 1 基当たり薪消費量との差によって FA1 基当たりの薪消費量削減率を算定した。結果は消費薪の水分控除重量比で 34.4%となった。

また、FA 導入による CO₂ 削減対策を進めるには、農村部での FA の普及が必要である。そこで、普及可能な FA による普及手法の検討を行い、その方法を試行し検証した。

普及手法としては、都市部で FA 普及に一定程度成功している FAFASO が「FA 活動の継続性確保にはプロジェクトからの金銭的支援を行わないことが必要」としていることから、農村部での普及においてもその条件を尊重することを基本に、普及可能性について検証した。試行結果は、Guesna 村全戸数 150 戸に対して 84 戸(56%)が FA を購入し、1 戸当たり 1.24 個の購入であった。

FA の種類ではセラミック製 FANo.3 が 74%、No.5 が 26%であった。

家庭での主食であるコメ及びトーとこれにかけるソースの調理に FA が利用されて、今後日常的に使用されると見られる。今後の使用についてはモニタリングにより検証していきたい。